

| | |
|------|-----------------------|
| タイトル | 『人文論集』学部創設10周年記念号によせて |
| 著者 | 船岡，誠 |
| 引用 | 北海学園大学人文論集，23・24：i-ii |
| 発行日 | 2003-03-31 |

『人文論集』学部創設 10 周年記念号によせて

人文学部長 船 岡 誠

人文学部の発足は平成 5 年 4 月のことです。そのさい「人類の指針的遺産を尊重しつつ、日本人としてのアイデンティティを確立する視座」の獲得と「〈自国文化中心主義〉におちいることなく、民族の多元的文化を尊重しながら、日本人としての文化的、倫理的責任を明確にする」という新人文主義を学部発足の理念といたしました。そして「国際化時代に適応できる語学力と、日本人としての確固たるアイデンティティを身につけ、国際社会や地域社会で能力を発揮しうる有為な人材の育成」を目標に歩みを進めてきております。

日本文化学科・英米文化学科とも言語・文学・歴史文化という 3 系統に編成され、有機的でかつきめの細かい指導体制を目指しました。イギリス・アメリカ・カナダから EFL 専門の外国人講師を招き、英語教育の充実をはかっています。また学部発足の年から、「市民公開講座」を開設しその後の「開かれた大学」の先陣を切り、「人文フォーラム」により学部の歩みを自己点検しつつ、その存在を社会にむけて公開してきました。

平成 11 年には学部発足以来の念願であった大学院文学研究科日本文化専攻修士課程を開設し、その完成年度の 13 年には同博士課程も順調にスタートしています。当初、文学研究科は日本文化専攻だけでしたが、平成 15 年 4 月から英米文化専攻修士課程も開設されます。また平成 12 年には日本語教員養成課程の開設もありました。学部創設時から日本文化学科のカリキュラムには日本語教育能力を育成するための専門科目が置かれていましたが、「日本語教育副専攻課程」が可能なようにカリキュラムを整備したのです。

国際交流の面では、従来からのカナダ・レスブリッジ大学との学生交流

に人文学部としても積極的に参加してきましたが、平成12年からは人文学部独自のものとして、カナダ・ブロック大学への夏季英語集中研修を展開しています。また人文学部は他学部在先立ち外国人留学生を受け入れてきました。協定を結んだ韓国・大田大学を含め、外国人留学生の受け入れを今後とも進めていきます。しかしそれ以上に、本学からの海外留学を積極的に進めていきたいと思えます。それを可能にする体制の整備を全学的に進めています。

本『人文論集』は、学部発足以来、「新人文主義」を発信するひとつの“場”としての役割を果たしてきたと思えます。今回、人文学部発足10周年を記念して23・24合併号とし、わたくしどもの日頃の研究活動の一端をひろく江湖に問うものであります。